

令和7年度

監査公表

令和7年11月から令和8年3月までに実施した監査の結果をお知らせします。
関係法令、条例、規則等に基づいて適正に処理されているか審査した結果、一部に改善を要する事例が見られたが、概ね適正に行われていると認めた。

竹田市監査委員 後藤 英一
竹田市監査委員 後藤 建一

■注意事項 1件

○生涯学習課

- ・助成金等の決算書等添付書類の整備について留意すること。

■意見・要望事項 35件

○総務課

- ・地震や台風などによる災害は何時発生するか予測がつかないことから、引き続き非常時に備えた防災対策を講ずるよう要望する。
- ・DXの推進は、行政改革にとっては重要な業務である。必要な教育、指導を職員研修が実施されるよう望む。また、人材不足の中、継続的に採用を行い、人材確保に努める事。

○総合政策課

- ・第2次竹田市総合計画に定められた10のリーディング施策は人口減少に“あらがう”“あわせる”施策であるが、各分野横断的に取り組む必要性の高い施策が多く庁内連携して取り組み、事業や施策の進捗管理を実践し、引き続き職員の意識高揚を望む。
- ・まちづくり支援事業では、市内返礼品取扱業者の経済効果を図るとともに、まちづくり施策の財源の確保に向けふるさと納税を募集しているが、新規事業者の開拓や新規返礼品開発等に引き続き取り組むとともに、ふるさと納税の拡大に期待する。

○情報推進課

- ・竹田市DX推進計画により、市民サービスの利便性向上と行政業務の効率を引き続き図ること。

○環境課

- ・通常業務や施設管理等に加え、新葬斎場整備業務、広域処理施設となる新環境センターの供用開始に向けた取り組みで事務が増えていると考えられるが、関係機関と連携して事業が円滑に進められるよう望む。
- ・家庭から排出される生ごみの減量化及び資源化推進を図ること。併せて、市民意識の向上のため、引き続きごみの分別講習会の開催や広報媒体を活用した情報発信に努めること。

○保険健康課

- ・国民健康保険特別会計は、少子高齢化と人口減少等により財政基盤が脆弱な状況である。引き続き、第3期竹田市国民健康保険データヘルス計画及び第4期特定健康診査実施計画に基づき、特定健診受診等の受診率向上や特定健康指導、生活習慣病重症化予防等に取り組み国保医療財政の安定化を図るよう望む。
- ・竹田市立こども診療所については、令和7年7月1日に診療を再開したところであるが、少子化が進み赤字経営が続くことが予想されることから、診療所のあるべき姿を考える必要がある。

○社会福祉課

- ・庁内の関係課と社会福祉協議会等が連携強化を図り事業の検証と見直しをしながら、必要なサービスが必要とする人に届けられるよう地域共生社会実現のための支援を望む。

○竹田保育所

- ・保育方針に基づき、豊かな人間性を持ち、豊かに生きるための基礎が身につく保育の確立とICTを活用した業務効率の向上を望む。
- ・保育計画に基づき保育士の自己評価、保育所の自己評価を行い公表し、保育内容の改善を図る取り組みを引き続き望む。

○高齢者福祉課

- ・介護現場の人手不足や費用の膨張が目立ち、介護保険サービスの提供体制の持続に危機感がある。引き続き介護人材確保及び育成と高齢者の自立支援に向けた取り組みを望む。

○畜産振興課

- ・畜産業全般の経営安定のために国や県の補助制度を活用し、自給飼料の生産拡大や未利用地を活用した放牧、低コスト生産を推進する市独自の取り組みを要望する。
- ・購買者誘致については、子牛価格と連動することから毎月の市場名簿発送と共に、県有種雄牛の肥育成績や各種共励会の資料提供を引き続き要望する。

○商工観光課

- ・竹田温泉花水月は、築20年を経過しており修繕料等の運営管理費に多くの費用を要している。今後も引き続き有識者の意見を聞き、市民に寄り添った事業の在り方を望む。
- ・年次有給休暇や夏季休暇が取得できていない職員が見受けられるが健康管理の観点から、取得しやすい環境が整備されることを望む。

○教育総務課

- ・竹田市長期総合教育計画の基本理念である「過去を誇り 現在を信じ 未来に憧れる」人づくり・まちづくりが実現できるよう引き続き教育行政の展開を望む。

○学校教育課

- ・不登校等の諸問題の予防及び解消を図るために、スクールソーシャルワーカーを派遣し、児童生徒及び保護者への助言や支援を行うよう引き続き要望する。
- ・幼保小の架け橋プログラムの促進を図り小中連携、中高連携により校種間連携を望む。

○生涯学習課

- ・地域コミュニティ形成ビジョン策定により公民館分館をコミュニティセンターへ移行が図られているが分館機能も残すことや今後も生涯学習の推進が必要なことから所管課と連携を図り進めること。
- ・生涯学習が所管する管理施設は多種にわたり、老朽化が進んでいる施設も見受けられる。引き続き竹田市公共施設等総合管理計画の方針等により対応すること。
- ・住民サービスからも公民館は、大変重要な施設である。変化する社会状況や地域住民のニーズに答え、地域の団体等と連絡を密にして、生涯学習を一層推進することができるように要望する。

○まちづくり文化財課

- ・埋蔵文化財発掘調査による出土遺物品の収納、保管管理する場所については、関係課と引き続き協議を続けて確保すること。
- ・岡城跡観覧料の免除については、竹田市国指定史跡岡城跡観覧料の徴収及び管理に関する条例に基づき処理すること。

○歴史文化館

- ・国定指定史跡岡城跡を中心とした観光振興やまちづくりに繋がる取り組みと竹田歴史文化館・由学館集客のためさらなる情報発信を望む。
- ・竹田市文化財保存事業費補助金については、交付要綱の補助条件により処理すること。

○議会事務局

- ・市民に信頼され、その付託に答える議会運営と開かれた議会づくりを引き続き要望する。

○選挙管理委員会事務局

- ・公職選挙法等に基づき公明かつ適正な選挙の実現に取り組むと共に、投票率の向上を図るため、投票しやすい環境づくりに取り組むよう要望する。

○農業委員会事務局

- ・農業従事者の高齢化が進む中、長期的な視点から、市外に居住する後継者等への農地の継承や相続手続きが円滑に進められるよう支援を望む。

○消防本部

- ・防火水槽新設については、公共施設整備計画により整備すると共に、無蓋の防火用水については消火活動に支障がないよう必要に応じて消防団や地域関係者と協力して点検すること。
- ・市民の生命、財産を守るため、防災意識の高揚と災害対策活動になお一層の取り組みを要望する。